

# 支 援 を 受 け た 学 生 の 声



大川 美咲 さん

大学名：旭川大学（短大2年） 出身地：士別市

コロナの関係や就職活動などでバイトに入れる回数が減り自由に使えるお金が減った。学内で食材を受け取れる点がとても安心でした！また、手軽に調理可能なものが多く、忙しい中でもお腹を満たすことが出来ました！食支援のおかげで心も体も満たされました。本当にありがとうございました。

北川 航大 さん

大学名：帯広畜産大学 大学院（2年） 出身地：大阪府

この度は「ほっかいどう若者応援プロジェクト」を実施して頂き、ありがとうございました。私は飲食店でアルバイトしていましたが、新型コロナウイルスの影響もあり、バイト時間が減少し生活が厳しい状況でした。そのため、今回の食糧配布により、生活が少しですが楽になりました。本当にありがとうございました。



新保 洋弥 さん

大学名：公立はこだて未来大学（2年） 出身地：江別市

現在、親元を離れ一人暮らししていますが、大学生協から食事の支援を頂けた事で、食費の削減になり大変助かりました。普段、あまりバランスの良い食生活ではなく、そこに主に食事面での支給があり、とても嬉しかったです。また、このような機会があれば、参加させていただけると嬉しいです。ありがとうございました。



金 優斗 さん

大学名：北海道教育大学 旭川キャンパス（4年） 出身地：札幌市

コロナの影響でバイト先が休業していた状況だったので、食費を切り詰めるしかなく、非常に不安な日々を送っていました。そんな中での食料配布は、生活が助かるだけでなく、コロナ禍での学生生活の不安も解消してくれるものでした。このような機会を作ってください本当にありがとうございました。





## 田中 譲仁さん

大学名：室蘭工業大学（2年）出身地：札幌市

私は現在一人暮らしをしています。一人暮らしなので食生活はおざなりになりがちですが、若者PJでの食料配布でレトルトや冷食など簡単なものでもちゃんと食べようと思いました。忙しい中配布していただき、ありがとうございました。

## 澁谷 舞さん

大学名：小樽商科大学（2年）出身地：興部町

私の通っている大学はまだオンライン授業が続いているので、家にいる機会が多いです。食費もかかるし、自炊をすることが大変で食事を欠いてしまいかちになるので、今回の食糧支援は本当に助かりました。有難うございました。



## 米山 元雄さん

大学名：小樽商科大学（1年）出身地：札幌市

今回の食糧支援で食費が減っただけでなく、普段不足している栄養をしっかり摂取できて健康的にも本当に助かりました。さばの水煮と炊き込みご飯の素がとても美味しいくて、自分でもまた同じものを買いました。有難うございました。

## 二階堂 未弓さん

大学名：北海道教育大学 函館キャンパス（2年）出身地：帯広市

いつ経済的な影響が出てもおかしくない状況で不安な日々の中、このような機会をいただき本当にありがとうございました。いただいた食料は大切に食べています！



こんな声もいただきました！

…会場の学生アンケートから

「看護学生で忙しさからなかなかバイトができません。そのため、生活費がかさみ、学費も親に出してもらっているため、申し訳なさでいっぱいです。食料支援や給付金があると救われる学生が沢山いると思います」

「コロナ禍で楽しみが減っている中でこのようなイベントを行ってくれることがとてもうれしいです」

「おいしいものを吃るのは動くことの源になるのでとっても嬉しいです。ありがとうございます」

「来たばかりで不安な中、頼れるのは学校や生協なのでこういった支援はとてもありがたく思っています。ありがとうございます」

# ■ コロナ禍で困窮する学生の現状・変化は!?

2022年3月1日、全国大学生活協同組合連合会（全国大学生協連）がおこなっている「第57回学生生活実態調査」のまとめが発表されました。今年は国公私立大学30校の学部学生1万813人を対象にインターネットで実施されました。

## <調査概要>

調査実施時期：2021年10～11月（1963年より毎年秋に実施 ※未実施年あり）

対象：全国の国公立および私立大学の学部学生

回収：10,813（30大学回収率31.4%）

調査方法：Web調査（郵送またはメールで調査依頼しWeb上の画面から回答）

調査項目の概要：収入・支出、奨学金、アルバイト、登校日数、オンライン授業状況、サークル所属、就職活動、学生生活充実度、勉強時間、読書時間など

## ◆ 「3つの危機」はどのように変化したか？

### 【2020年度の特徴】

#### 学生にとって3つの危機

##### 暮らしの危機

学費や生活費の見通しに不安があり、安定した暮らしをできない！

##### 学びの危機

「WEB授業が大変」「実習ができない」「進路の見通しが立たない」

##### コミュニティの危機

「友達がゼロ！」「孤独を感じている」「学び合い、励まし合いができない」

### 【2021年度の特徴】

#### 学生にとって3つの危機

##### 暮らしの危機

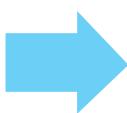
アルバイト収入は20年より回復するものの19年に届かず。支出の構造的な減少…食費／娯楽費／交通費

##### 学びの危機

オンライン講義に苦慮。登校日は地域・大学により異なる。予復習にかける時間増。

##### つながりの危機

サークル加入状況は2年生の4人に1人が【所属したことがない／今後も入らない】

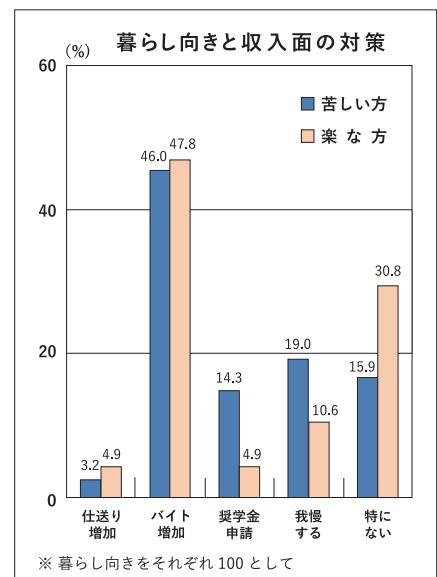


### 【調査結果の特徴として】

- ①新型コロナウイルス感染拡大後2回目の調査でコロナ禍2年目の生活や意識の変化がデータに表れています。
- ②2020年調査に比べ「学生生活充実度」「サークル加入」等、各種数値が回復したものの、2019年調査（コロナ以前）水準までは戻っていない。
- ③とりわけコロナ禍直後に入学した2年生（2020年4月入学者）は、他の学年に比べて大学生活の充実度が低いなど、懸念されるデータとなっています。
- ④学年別にみると「コロナ禍の学生生活」を大学生がどう受け止めているかによって意識の違いがみられます。

## 暮らしの危機はどう変化した？

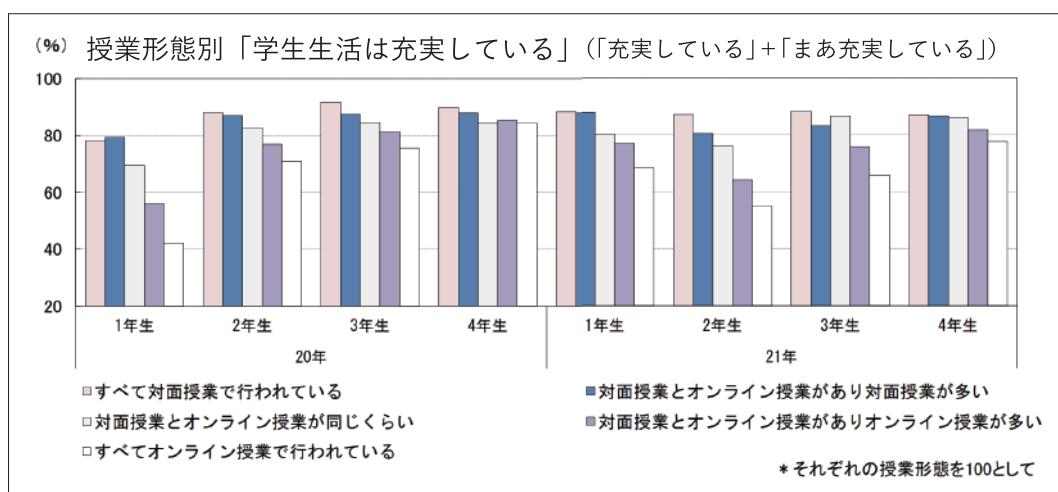
- アルバイト収入は20年より回復するも19年に届いていません。
- 支出の構造的な減少・・・食費／教養娯楽費／交通費の節約傾向。
- 半年間の特別費：「国内旅行」は復活の兆し、「就活」費用は減少傾向、資格取得・衣料品・貯蓄が増加傾向となっています。  
～収入減だが支出も減少のため、節約志向が伺えます  
～一方で家計支持者の収入は「大きく減少+減少」14.0%
- コロナ禍以前に比べ、「1日2食」の学生は明らかに増加しています。
- コロナ禍においても、学生自身の暮らし向きに対する受け止めは大きく変化せず主な家計支持者の収入は厳しさが続いている。



# 「全国大学生活協同組合連合会調べ」

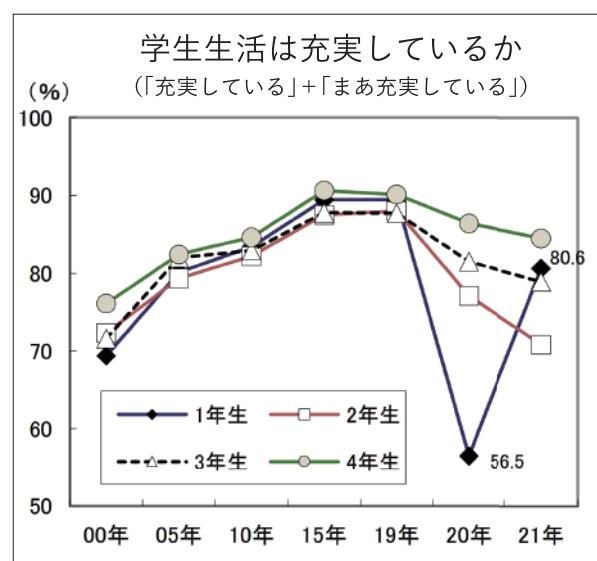
## 学びの危機はどう変化した？

- 「対面講義よりオンライン講義の方が多い」が多数派を占めています。  
～対面講義→オンライン講義の連続カリキュラムに苦慮しているのが伺えます。
- 登校日数は地域・大学により大きく異なります。
- 「授業・レポート」の悩みは減少している。「課題地獄」は解消されつつあるように見えます。
- また予復習にかける時間が増えている。一方で「読書時間0分」は再び増加傾向にあります。



## つながりの危機はどう変化した？

- 「学生生活充実度」～1年生は大きく回復しているが、2年生の回復が弱いのが気がかりです
- 「サークル加入状況」は20年より回復するも19年に届かず。2年生の4人に一人が「所属したことない／今後も入らない」と回答しており、サークル文化の衰退が懸念されます。
- 学生生活を「充実している」と感じる層と「充実していない」と感じる層によって、日常生活の悩みが大きく異なる傾向となっています。



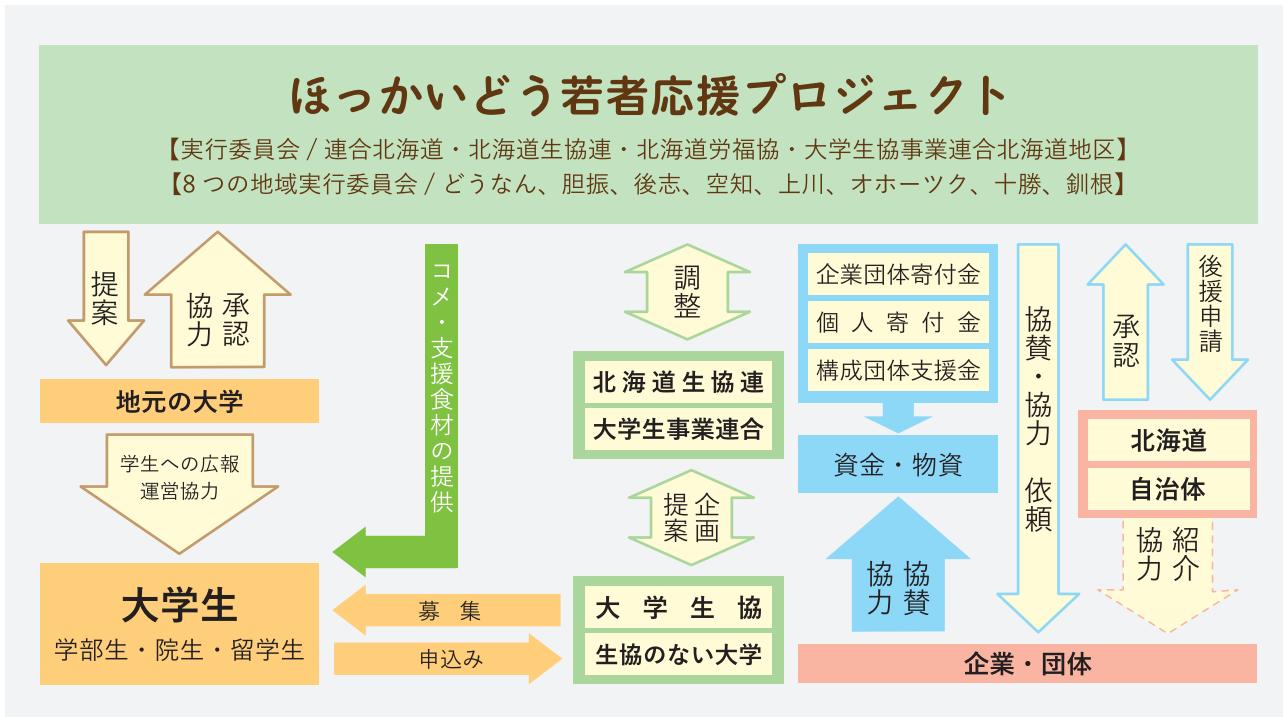
詳しくは、全国大学生活協同組合連合会のホームページからご覧ください。



# ほっかいどう若者応援プロジェクトの支援事業スキーム

コロナ禍で困窮する一人暮らしの学生に食の支援を！

## ■ 支援事業のスキーム



## ■ ほっかいどう若者応援プロジェクトの実施体制

- 【構成】 連合北海道、北海道労働者福祉協議会、北海道生活協同組合連合会、大学生協事業連合北海道地区
- 【共同代表】 杉山 元（連合北海道会長）、出村良平（道労福協理事長）、麻田信二（道生協連会長）
- 【後援】 北海道、札幌市、釧路市、小樽市、北見市、室蘭市、帯広市、旭川市、函館市、江別市、名寄市、岩見沢市
- 【協賛・協力】 食・みどり・水を守る道民の会、北海道農民連盟、北海道労働金庫、こくみん共済 coop 〈全労済〉 北海道推進本部、北海道地区大学生活協同組合、

### 協同組合ネット北海道事務局 8 団体

北海道農業協同組合中央会、ホクレン農業協同組合連合会、  
北海道漁業協同組合連合会、北海道森林組合連合会、  
北海道生活協同組合連合会、生活協同組合コープさっぽろ、  
北海道労働金庫、ワーカーズコープ連合会北海道事業本部

【設立】 2021年1月4日

【事務局】 連合北海道内（札幌市中央区北4条西12丁目ほくろうビル6階）  
連絡先：TEL 011-210-0050（連合北海道総合政策局 坪田）

## ■ 「ほっかいどう若者応援プロジェクト」実行委員会

共同代表	杉山 元 連合北海道会長 出村 良平 道労福協理事長 麻田 信二 道生協連会長
事務局長	坪田 伸一 連合北海道総合政策局参与
事務局次長	紺野 則仁 道労福協事務局長 平 照治 道生協連専務理事 須田 正樹 大学生協事業連合北海道地区常務理事
幹 事	皆川 洋仁 連合北海道道民運動局長 岸本 敬一 道生協連事務局長 小助川 誠 北海道大学生協専務理事 前田 讓二 道労福協事務局次長 吉田 賢一 連合石狩地協事務局長 山口 裕一 連合札幌副事務局長
会 計	阿部 忠之 連合北海道総務財政部長

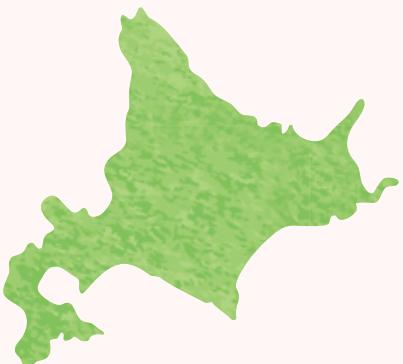
## ■ 「ほっかいどう若者応援プロジェクト」地域実行委員会

プロジェクトは、「支えよう地域の力で」をスローガンに、地域主体の取り組みを重視しています。連合の地域協議会やブロック労福協、大学生協が連携し、8つの地域で実行委員会を立ち上げ、協賛寄付の募集や食料支援を実施しました。

### 道内8つの地域実行委員会

- どうなん（函館市） ● 胆 振（室蘭市） ● 後志（小樽市） ● 空知（岩見沢市）
- 上 川（旭川市） ● オホーツク（北見市） ● 十勝（帯広市） ● 鉾根（釧路市）





## ほっかいどう 若者応援 プロジェクト

[www.wakamono-ouen.com](http://www.wakamono-ouen.com)

### 編集・発行

## ほっかいどう若者応援プロジェクト

〒060-0004 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろうビル6階(連合北海道)



#### ■ 連合北海道

〒060-0004 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろうビル6階

TEL. 011-210-0050

---

#### ■ 北海道労働者福祉協議会

〒060-0004 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろうビル5階

TEL. 011-251-7560

---

#### ■ 北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目 こくみん共済 coop 北海道会館4階

TEL. 011-841-8601

---

#### ■ 生活協同組合連合会大学生協事業連合北海道地区

〒060-0808 札幌市北区北8条西7丁目1-1 北大生協会館3階内

TEL. 011-726-9148

制作日：2022年3月31日

制作会社：株式会社キヨウエイアドインターナショナル

この報告書は co·op 共済地域ささえあい助成の助成金を受けて制作しています。

